

2025/6/27

第51回 日本整形外傷学会@横浜

パネルディスカッション3 外傷治療のプロも悩んで育った！

An educational case: 足関節果部骨折

湘南鎌倉総合病院 整形外科外傷センター

二村 謙太郎



@ER

(Day0)

49y.o Male

階段から転落

腓骨近位骨幹部まで骨折線



徒手整復

AO/OTA 44C2.1u



遠位脛腓骨靱帯結合は脱臼・・・

外旋



内旋



@OR

(Day2)

内旋にてmortiseは整復



AP

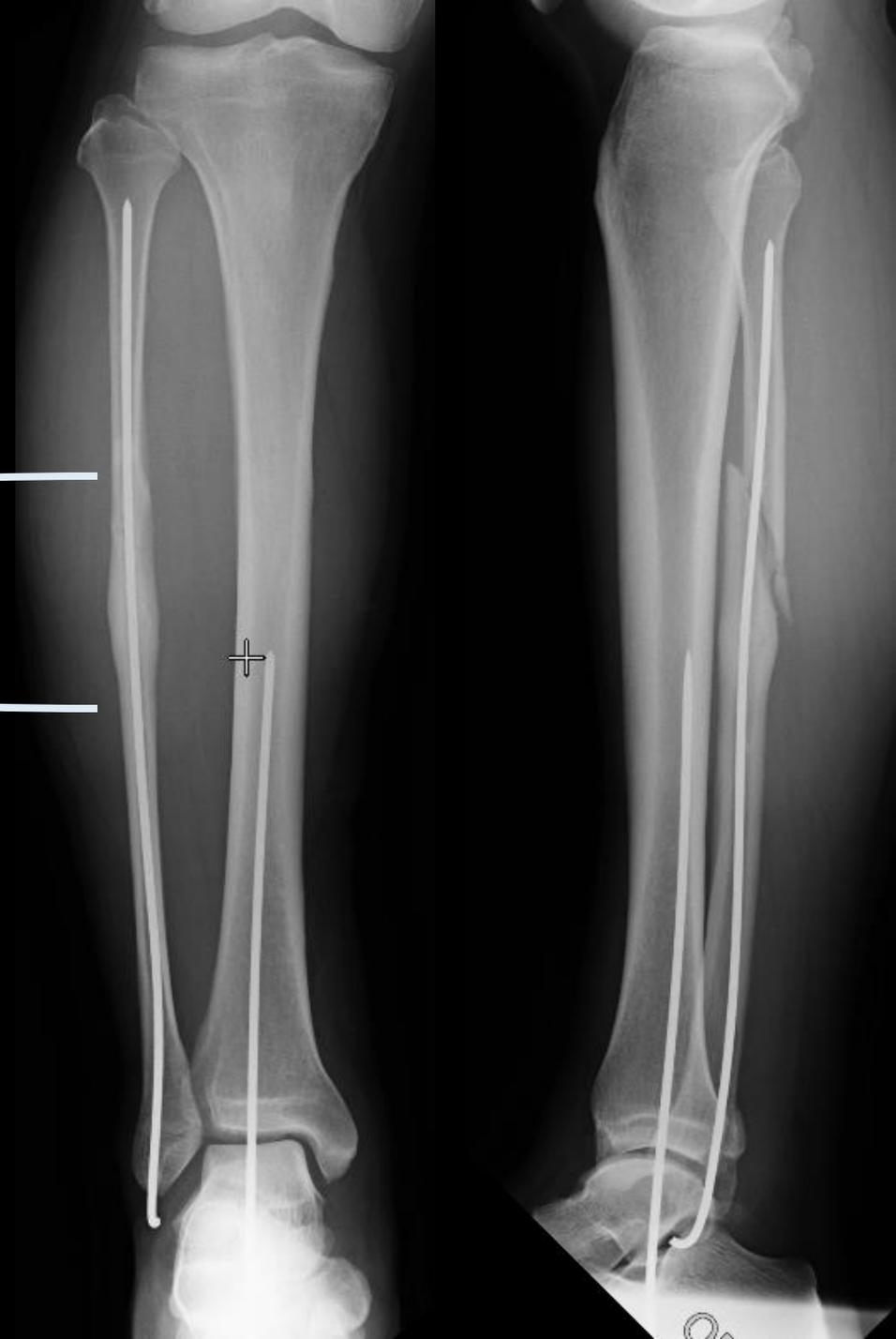
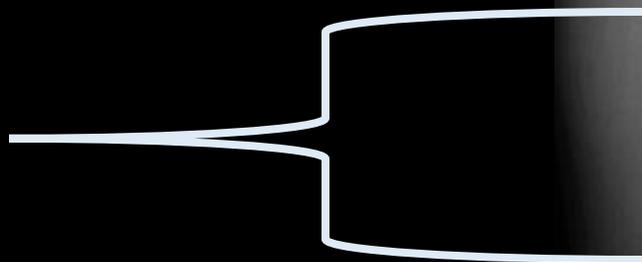


Mortise

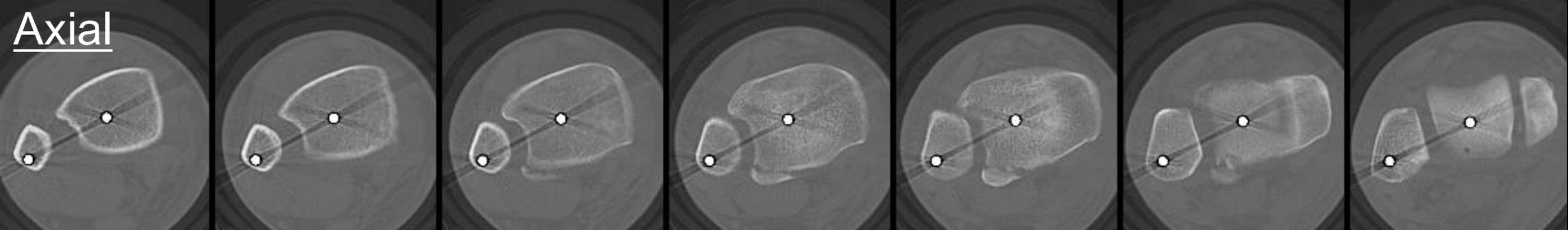


Lateral

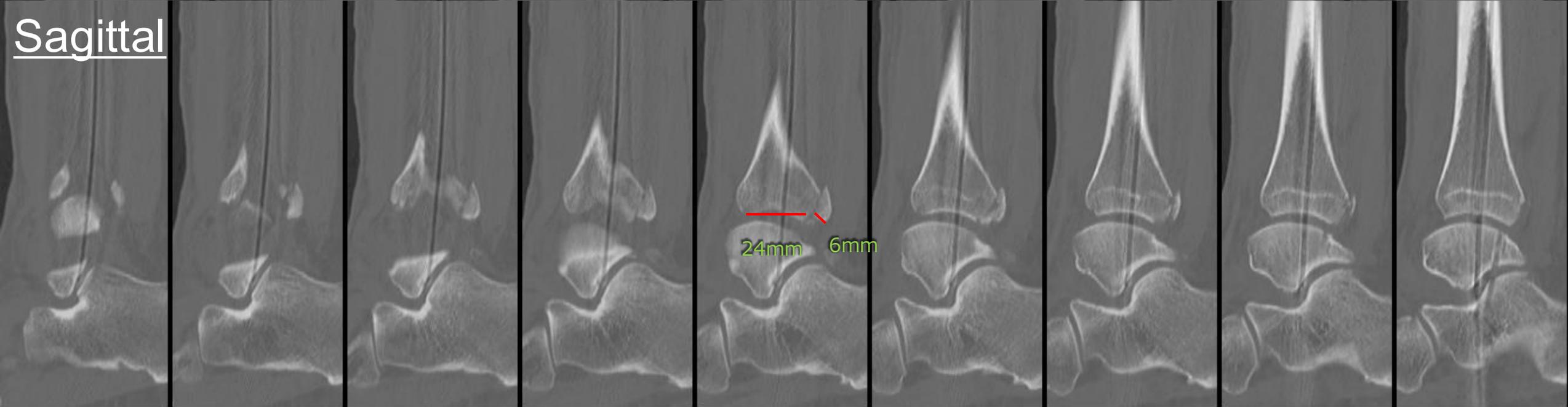
この領域は過去骨折の既往ありの疑いですが
今回の症例検討には無関係と見做してください



Axial



Sagittal







A



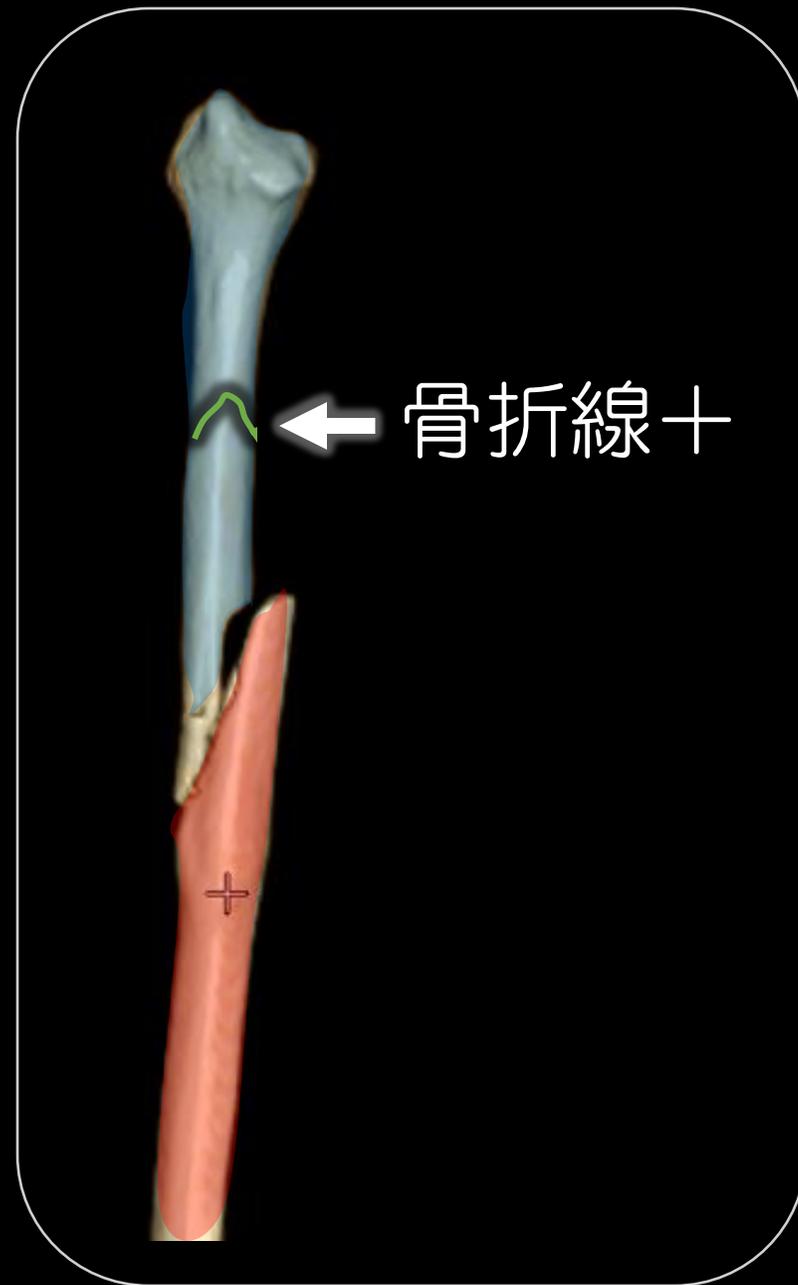
L



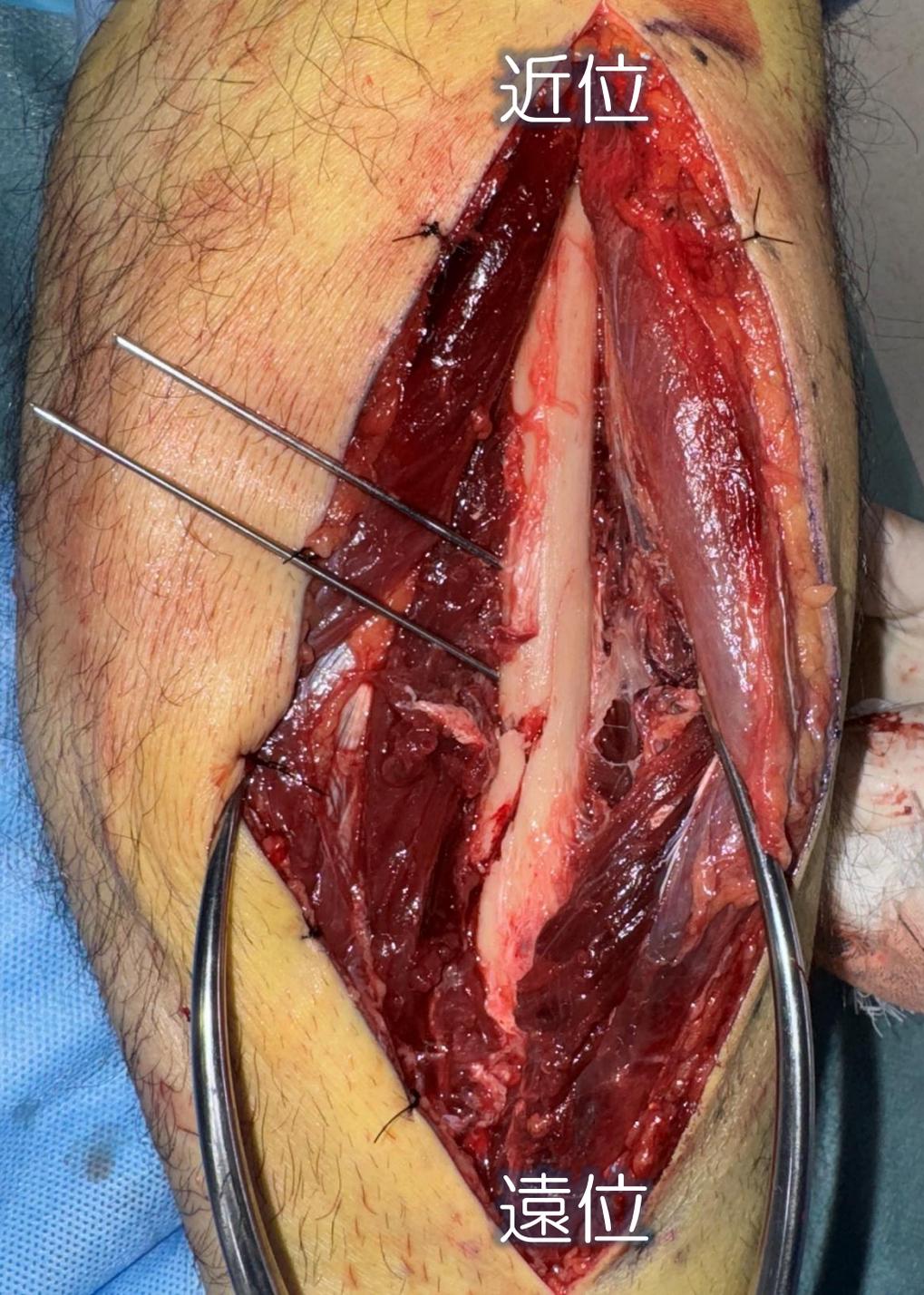
P



M



どのようにしてsyndesmosisの再建をしますか？



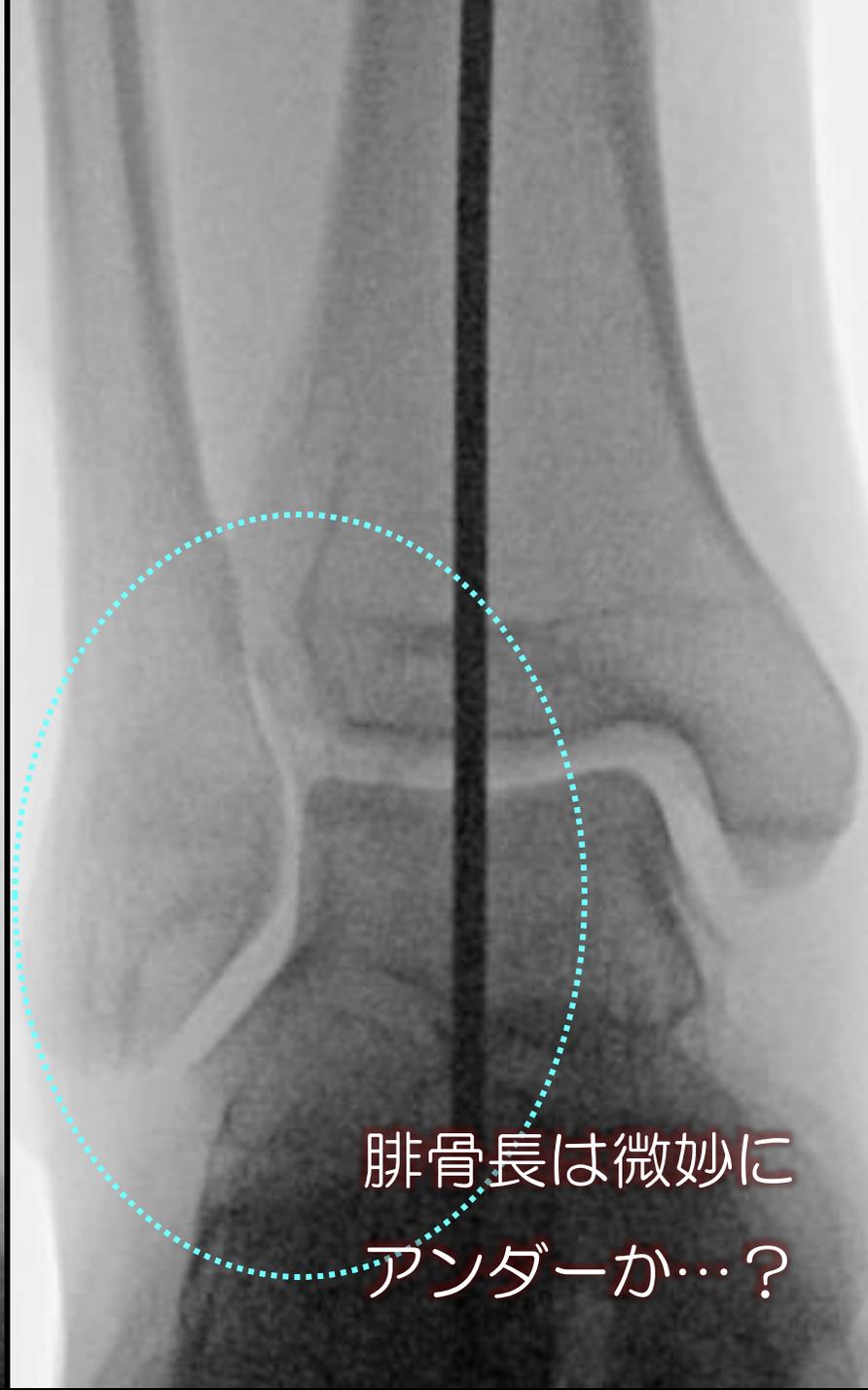
近位

遠位

Day11：確定的手術

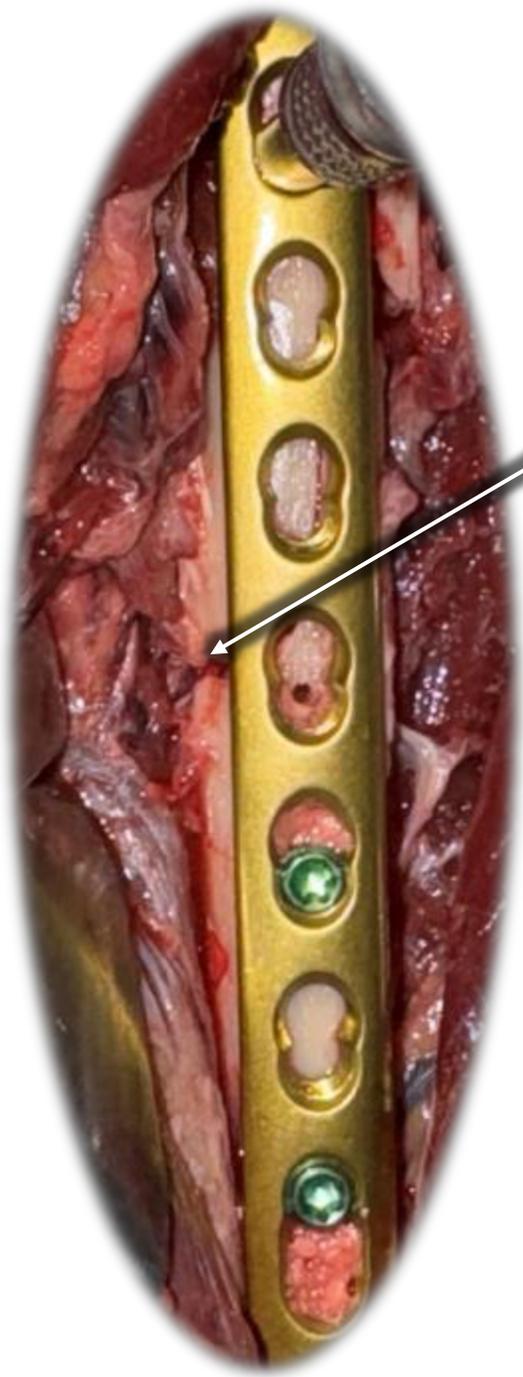
腓骨骨折部は、
ほぼ解剖学的？

健側ミラー



腓骨長は微妙に
アンダーか…？

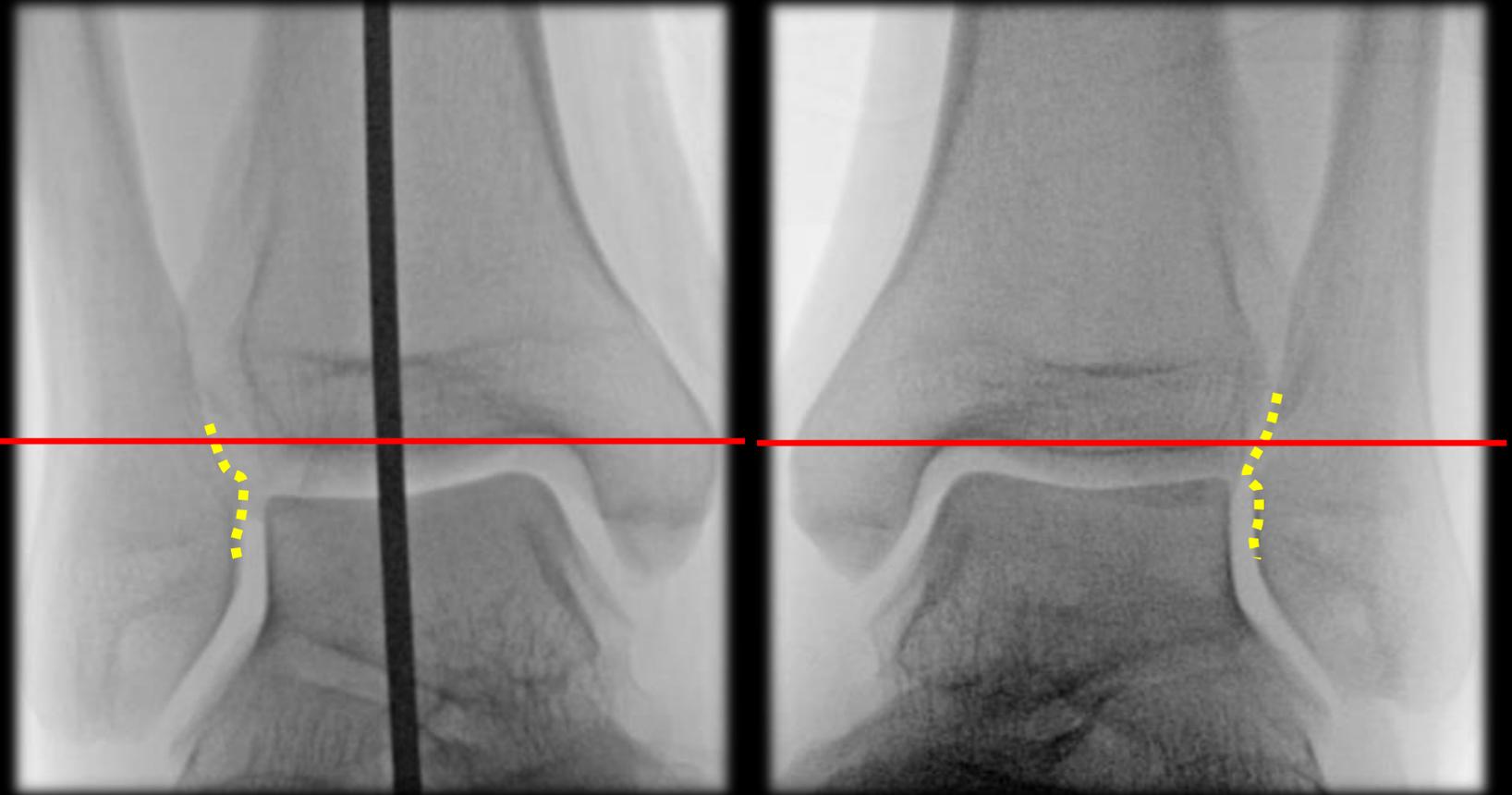




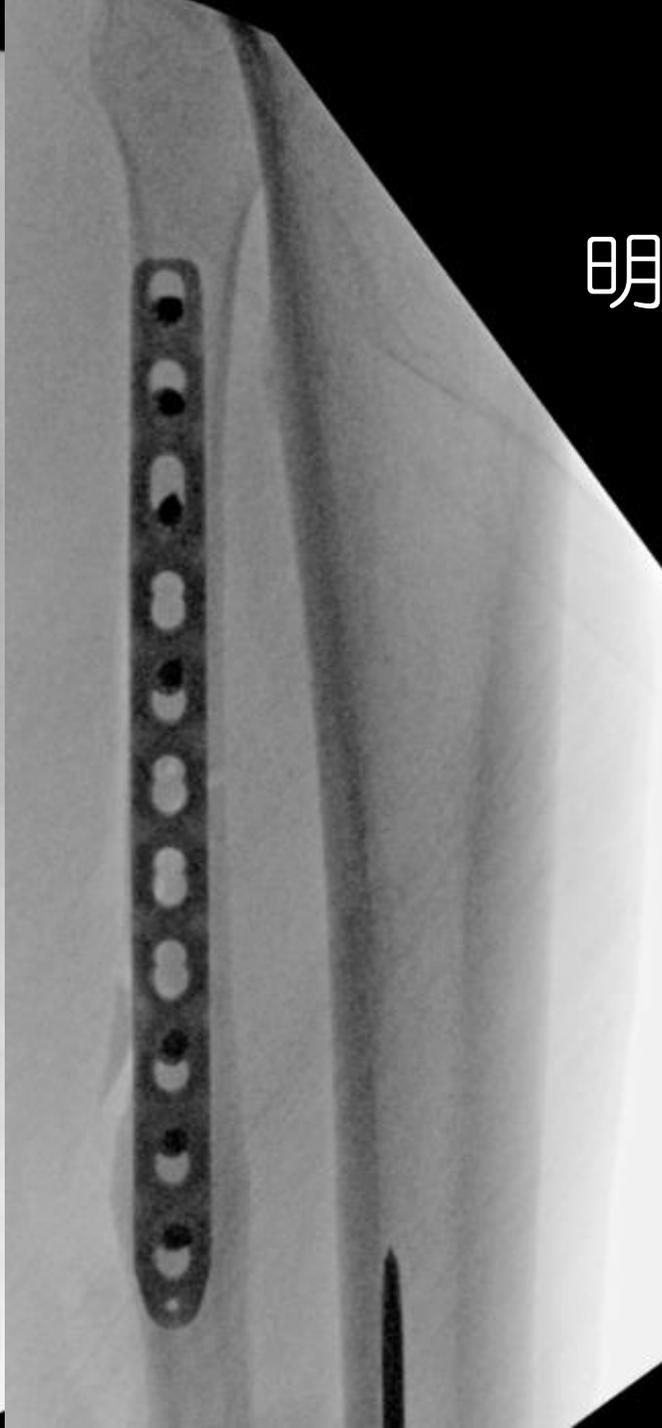
約1mm distractionして生じたgap

明らかな回旋/角状変形はない
と判断、結果的に約1mm延長...

After distraction



ほぼ同等の腓骨長

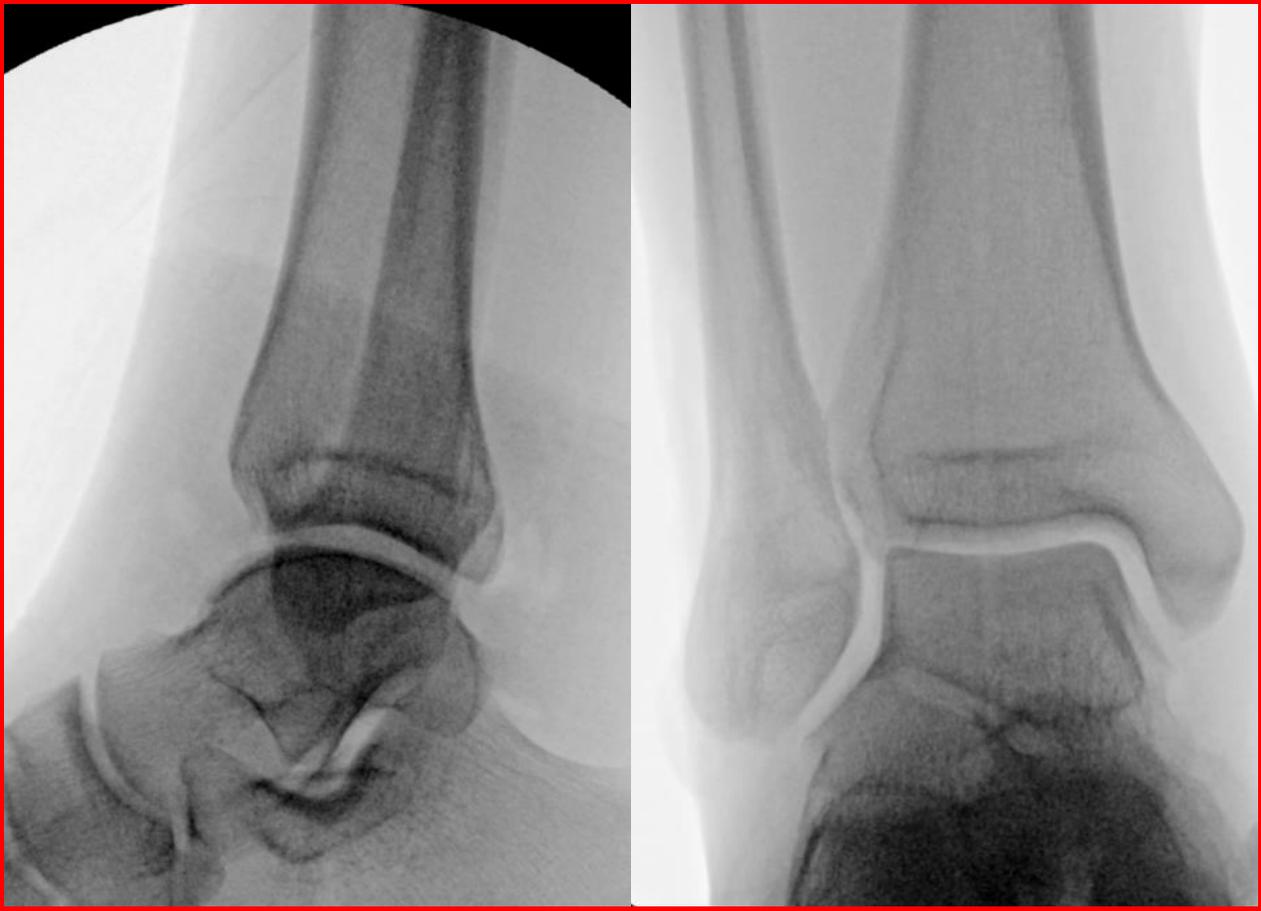


明らかな回旋/角状変形はない

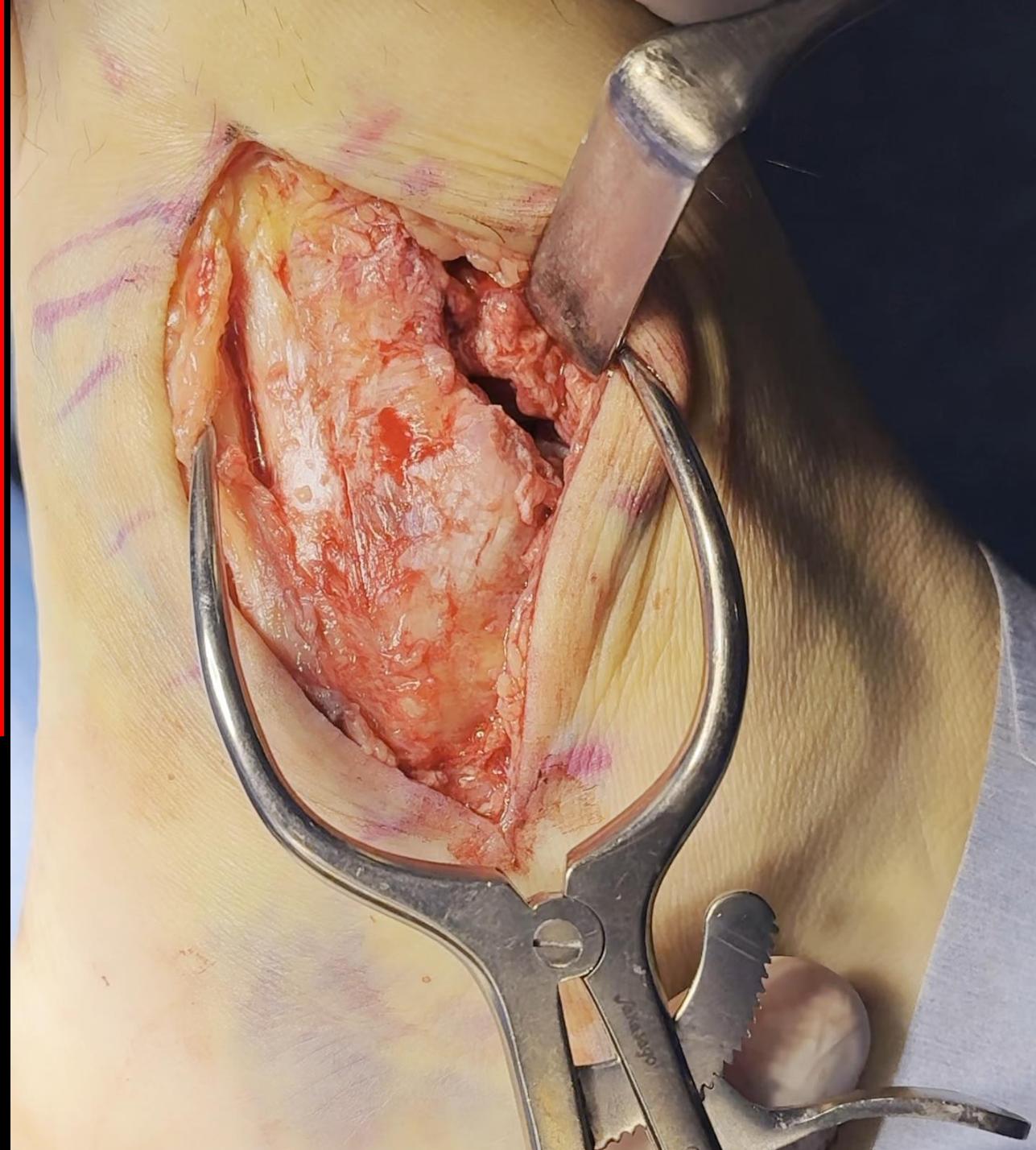


AP：明らかにTFCSに差異あり

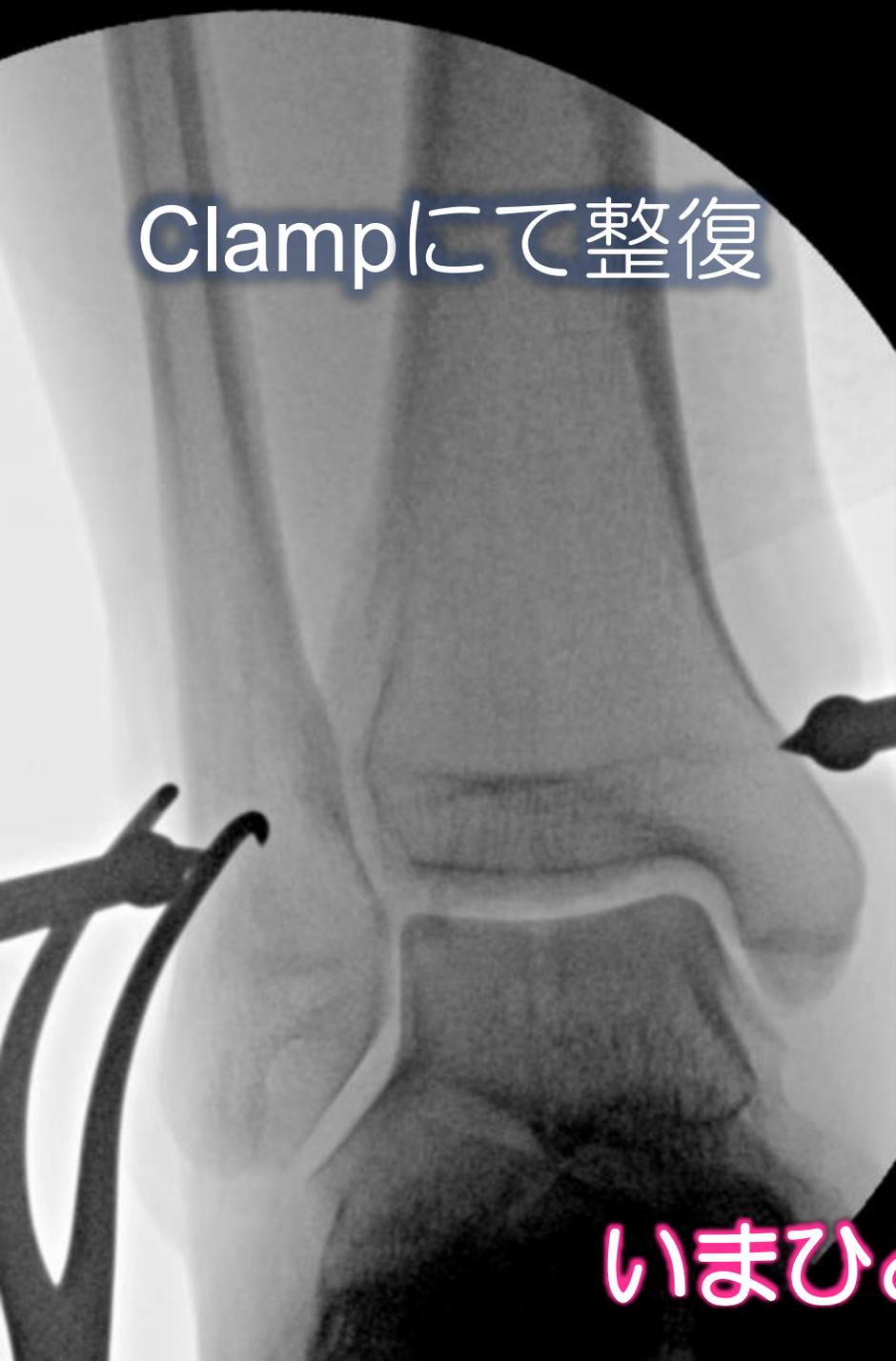
Lat：おおむね許容範囲内かな？



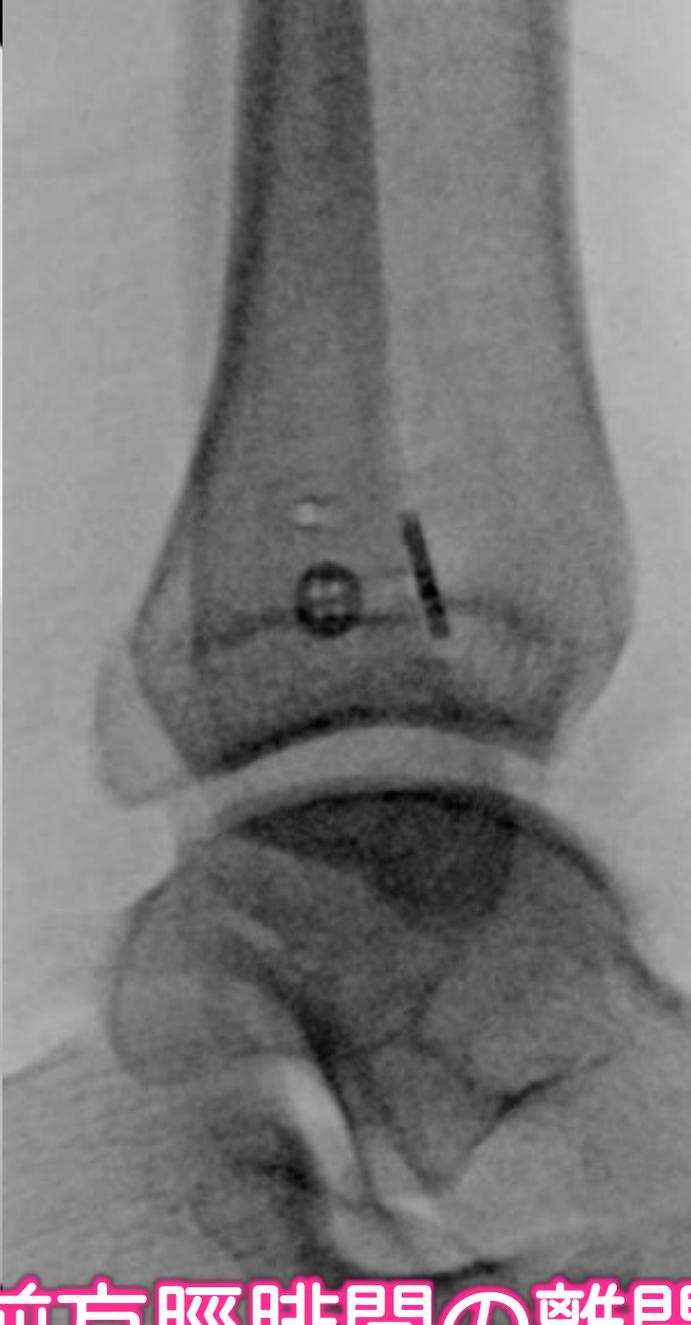
静的に（非ストレス下で）
前方脛腓間が離開あり...



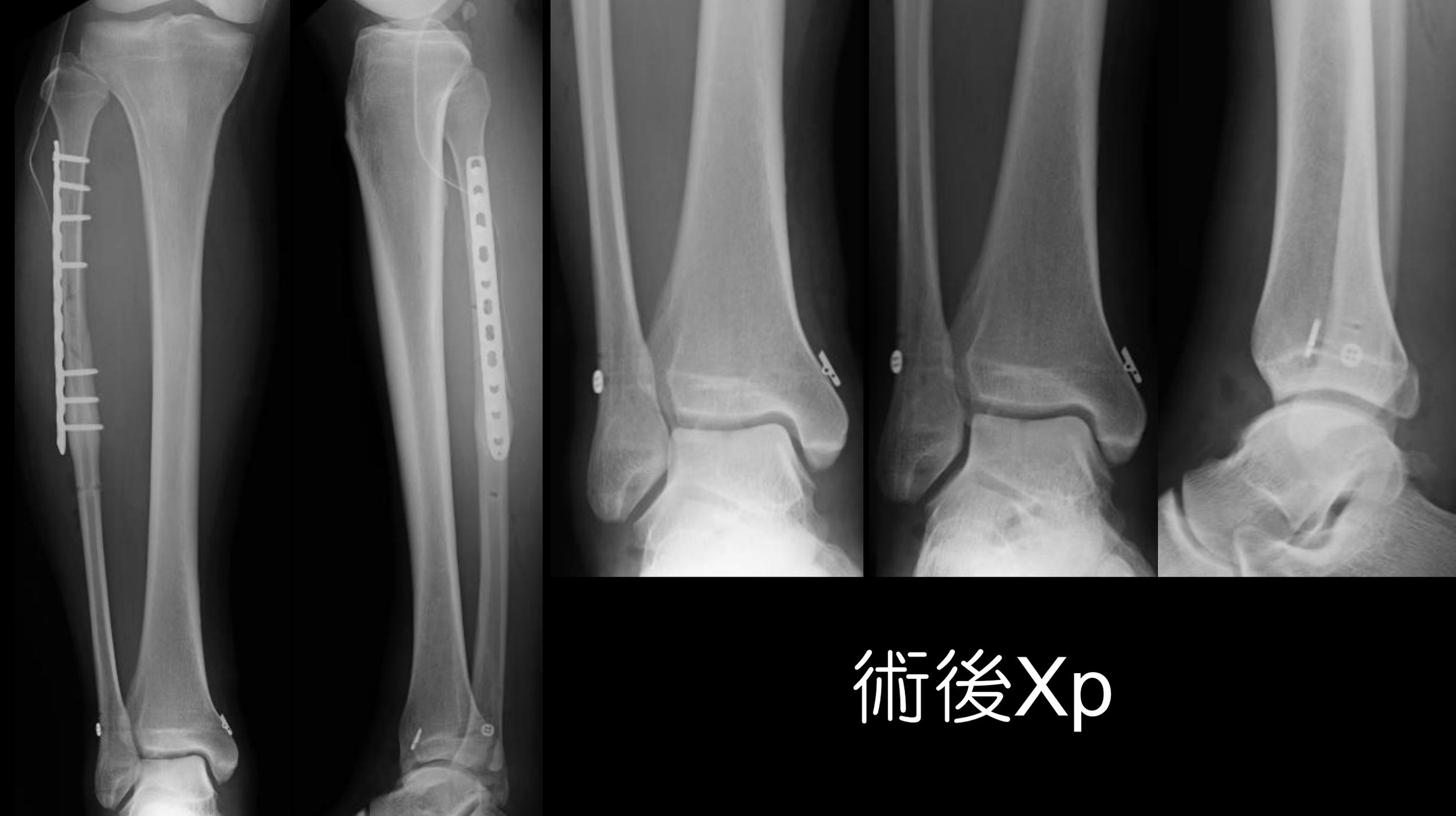
Clampにて整復



いまひとつ前方脛腓間の離開を閉じれず...

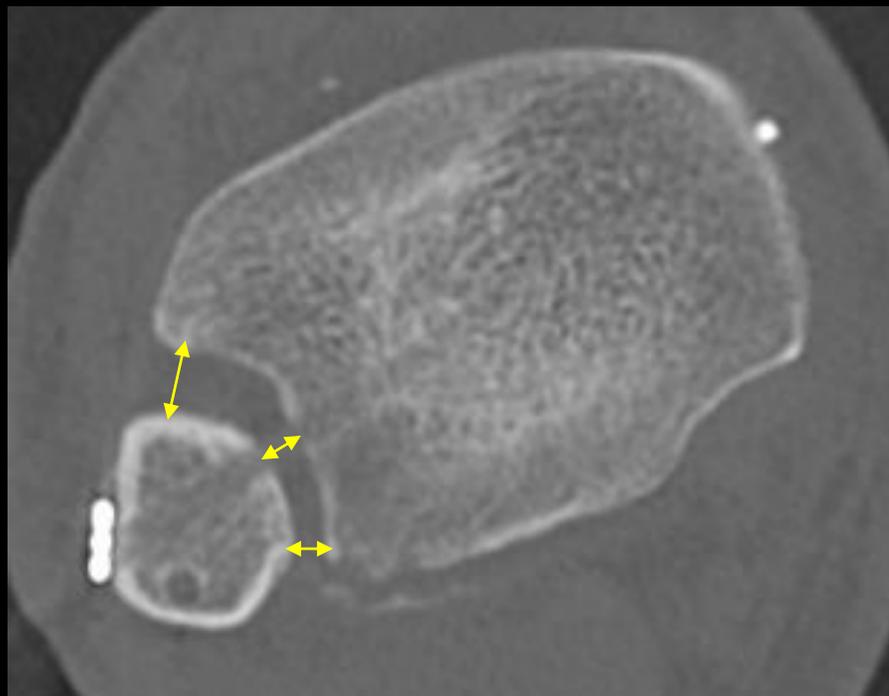


前方脛腓間の離開は結局 閉じれず...

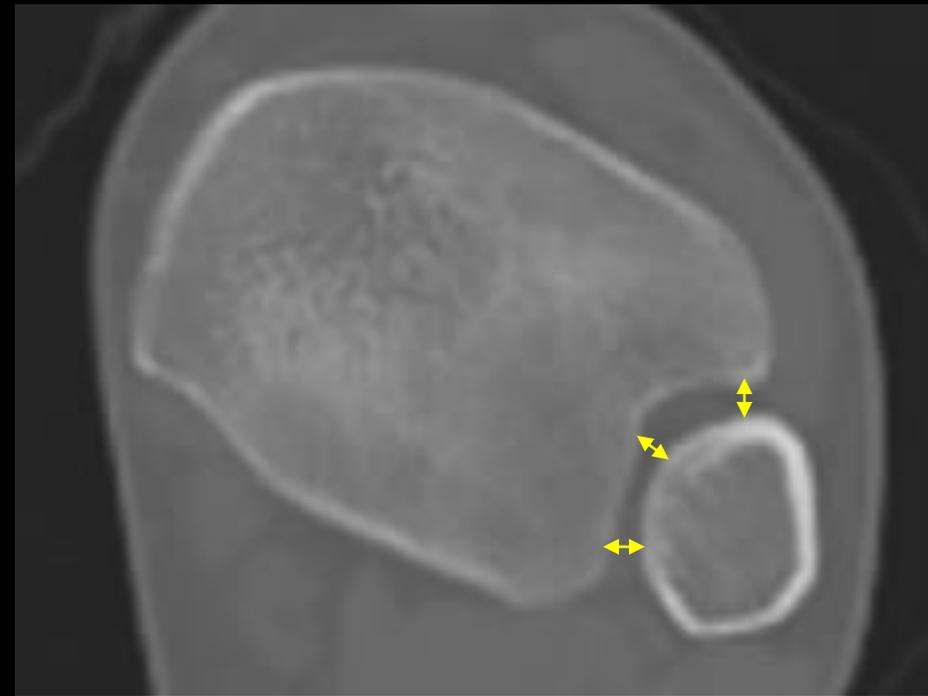


術後Xp

足関節同一肢位でCT撮影

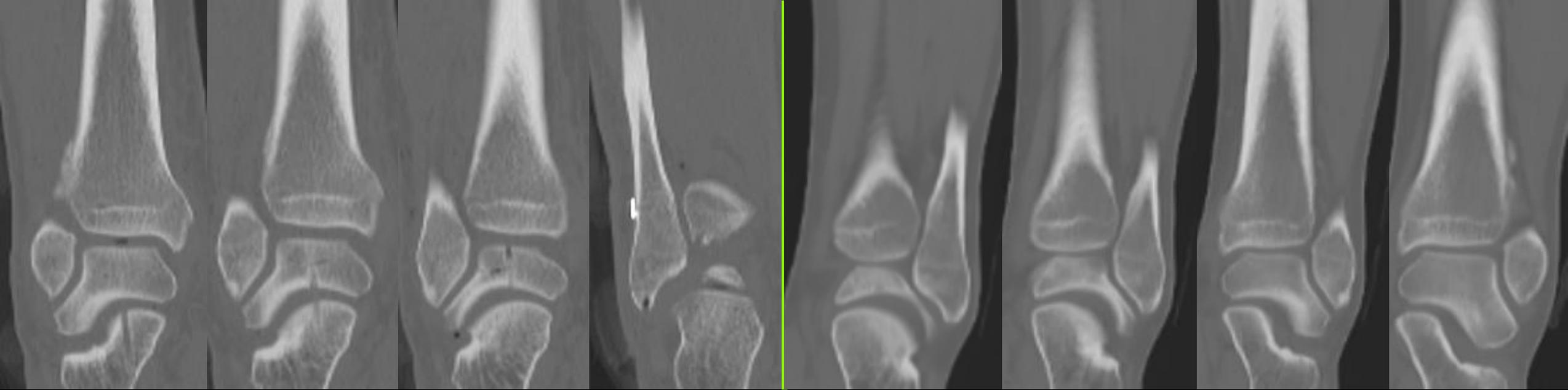


前方：5mm、中央：3mm、後方：3mm



前方：3mm、中央：2mm、後方：3mm

肉眼所見同様、前方を中心として脛腓間の開きは残存



脛腓間距離は左右差あり



健側と近位の形状を合わせると患側では遠位骨片が外旋している
→遠位骨片の回旋変形の残存が遠位脛腓間の前方離開の原因……

lateral

Posterior

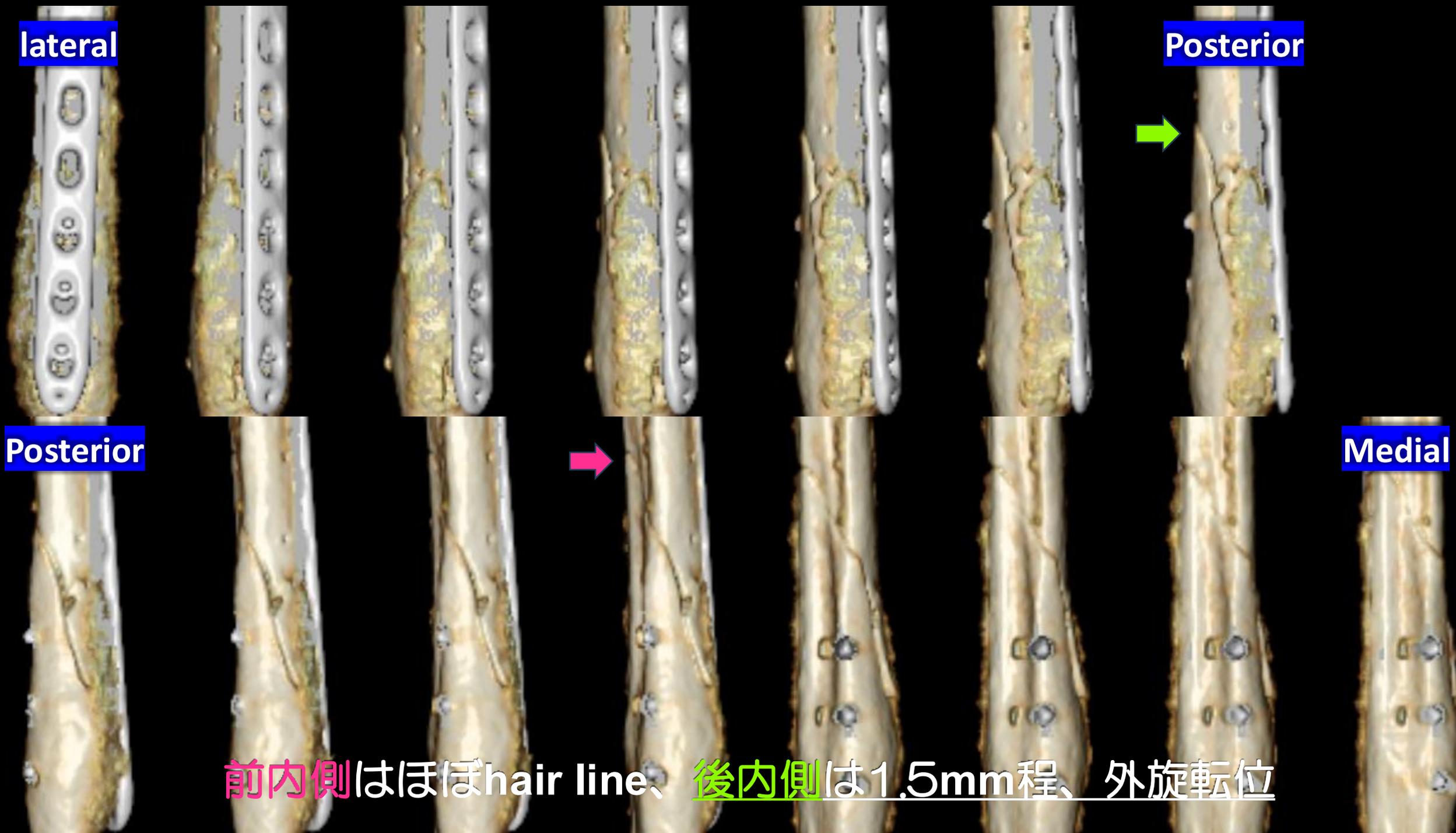


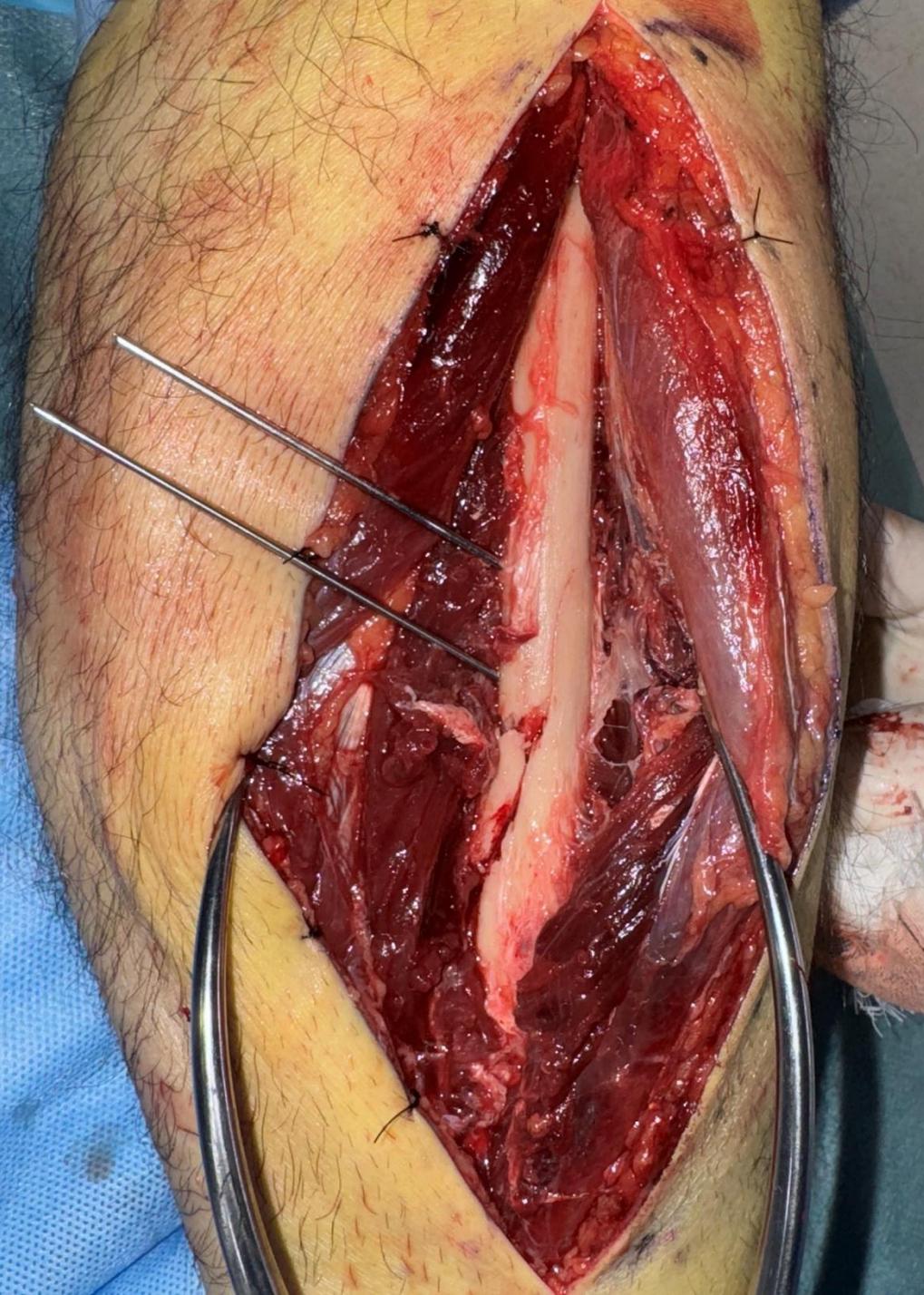
Posterior

Medial



前内側はほぼhair line、後内側は1.5mm程、外回転位





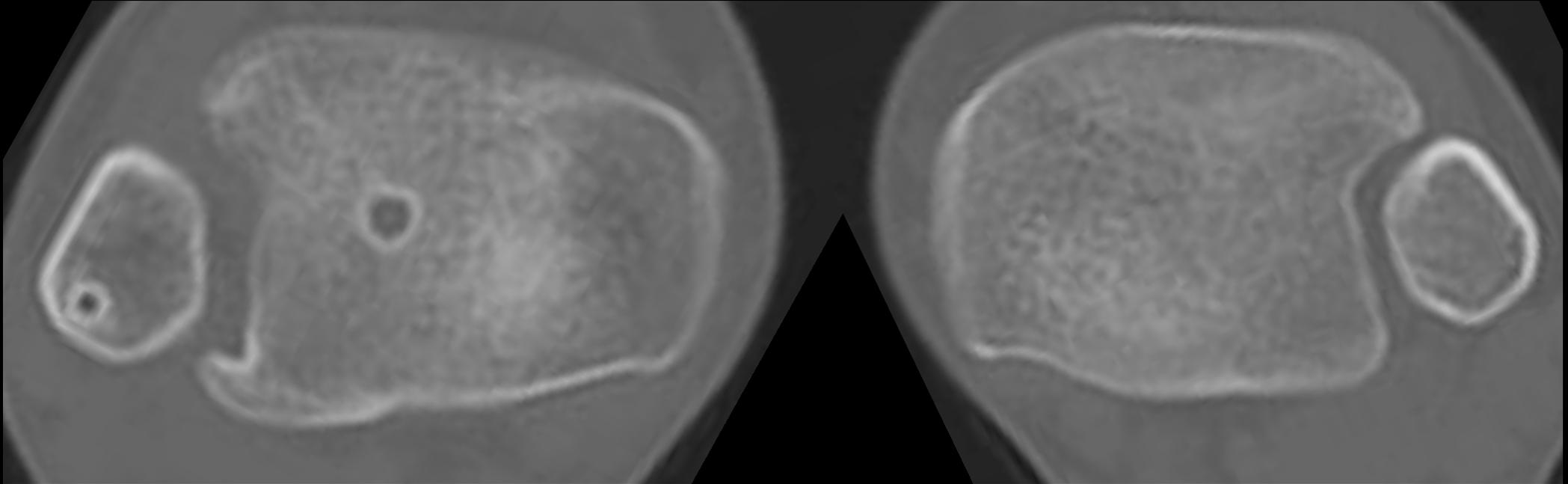
解剖学的整復位を獲得できていたと思っていたが、
腓骨の骨折部にて間違いが生じており、それが原因で
syndesmosisの静的アライメント不良を惹起していた
それに気づかず、手術を進めてしまった・・・

PO1y



AOFAS 100, VAS 1-2 (スキーのとき)

P01y



最も合目的なsyndesmosis整復位獲得の方法は？

間違いへのいくつかのターニングポイントがありますが
術前～術中の過程でどこに改善点があったでしょうか？